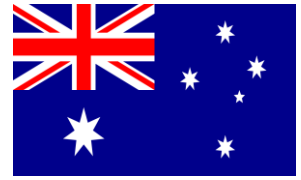


Southern Cross

2018

No.11



The Japanese School in Perth
パース日本人学校



2月2日発行

Web-site www.japaneseschool.wa.edu.au

e-mail: info@japaneseschool.wa.edu.au

帰任します

来月の3月に帰任する教員をお知らせいたします。保護者の皆様をはじめ多くの方々にお世話になりました。ありがとうございました。

福島忠和教諭

一二三真教諭

小川亜依教諭



中庭側の通路



送迎時は道路に停車

教室の様子



移転先校舎の工事が順調に進んでおり、あと2週間で工事完了の予定です。その後、完了検査や引き渡し説明（2月27日）が行われます。

移転先校舎

おじいさんのランプ

校長 吉崎潔

新美南吉著の「おじいさんのランプ」という童話があります。物語の概要は、次のようになります。

『明治から昭和にかけて、文明が開けていく時代に生きて老人がいました。彼の名前は巴之助といい、明治の終わりごろ、町で初めてランプを見ました。その明るさと美しさに驚き、ランプを売る商人になることを決意します。』

商売は成功しましたが、あるとき町へ出てみると電燈がついていました。しばらくして巴之助の村にも電燈がきました。巴之助は、自分の商売がだめになると思い、電燈導入を決めた村会の議長さんを恨みました。

巴之助は、議長さんに仕返しをしようと思いますが、失敗します。その時、ふと自分の愚かさに気が付くのでした。巴之助は、今までの商売をやめ、町に出て、新しい商売、本屋を始めます。』

物語の中で、巴之助は仕返しに失敗しますが、もし巴之助が議長さんに恨みを抱いたまま、仕返しをしてしまったならば、周囲の人、社会、そして自分自身にどのような影響を及ぼしたでしょうか。

巴之助がランプ屋になったのは、文明開化に遅れた村人たちの生活を明るくしてやろうと考えたからでした。社会の一員として社会を支えようとしていたのです。巴之助はランプ屋の時は人々に光を、本屋になってからは知識の光を世に届けています。

本屋として再出発できたのは、人々のために尽くそうという筋の通った生き方、人間としての誇りを常にもち続けようとする生き方が巴之助にあったからではないでしょうか。

また、この物語では、古いものと新しいもの、具体的にはランプと電燈が対立しています。新美南吉は、矛盾し対立する異文化をどうにかして共存させることはできないかと私たちに問題提起しているかのようにも思います。

世界には国の異なる多くの人々がおり、言語や文化に違いがあるように、私たちの身近な人々にも自分とは異なる文化（考えや生き方）があります。異文化と共生力を合わせながら新しいものを創り上げていくこととする態度を身につけていきたいですね。

書き初め会

1月12日（金）5校時に、
全校生での書き初め会を行いました。
日本の書文化を継承するべく、1・2年
生は硬筆、3年生以上は毛筆に取り組み
ました。子ども達は皆、一字一字ていね
いに書いていました。



羽根つき大会

書き初め会の午後、本校で今年初めて
羽子板を使って羽根つき大会を行
いました。初めてやる子も多かったので
職員がデモンストレーションを見せた後、羽根つき大会を楽しみました。



避難訓練

1月31日（水）に避難訓練（地震）を実施しました。
オーストラリアでも地震の被害が出たこともあります
し、日本は特に地震の多い国なので必要な訓練です。
職員の指示をしっかりと聞き、落ち着いて速やかに避難
することができました。



JSPよもやま話

みなさんは、まんがのアニメの中で何が一番好きですか。先生は「アンパンマン」が大好きです。その中で特に好きなキャラクターに「マダムナン」というパンの「ナン」を作っている優しいおばさんがいます。みんな本当は優しい人だと思っていてバイキンマンのことも悪いふりをしていると思っているおばさんです。

さて、なんで「アンパンマン」が大好きですかというとアンパンマンのテーマ「愛と勇気」が先生の人生の目標「感謝、思いやり（愛）勇気」と同じだからです。

先生が小学校の2年生の頃、5つ上の姉とバスに乗ってピアノレッスン通っていたときのことをお話しします。なぜかというとそのバスで「アンパンマンとバイキンマン」に出会ったからです。「えっ」と思いますねえ。バスを降りる時、運賃がその日から上がったことを知らなかった先生とお姉さんはお金が足りなくて降りられなくなったんです。運転手は「あーあー足りないよー、どうすんだよー」と（まるでバイキンマン）で先生は「誰か助けて」「こわいよ」と心で叫んでいました。すると、後ろからおばあさんが「足りないのは私が払いましたよ。降りましょう。」と言って助けてくれたのです。（まさにアンパンマン！！）先生はこのおばあさんへの感謝を一生忘れません。こうやって人に伝えては自分をそういう人に（アンパンマン）になりたいなあと思っています。（でも好きなキャラクターは「マダムナン」です。）

